



9月号

令和5年9月1日

神根小だより

川口市立神根小学校

在籍児童293名16学級



## 防災について

校長 篠崎 弘敬

今から100年前の1923年(大正12年)9月1日に関東大震災が起きました。マグニチュード7.9最大震度6(当時の階級では最大で現在の基準では震度7に相当と推定)で南関東及び隣接市で大きな被害をもたらした大きな地震でした。今年は、関東大震災が起こった時刻に県内一斉防災訓練を実施します。「シェイクアウト訓練」といい、短時間で誰でも、どこにいても、実施できる防災訓練です。学校では、その場で低い姿勢をとり机の下にもぐり頭を守ります。時間としては1分程度の短い訓練ですが、地震発生時に素早く身を守ることにつながると考えます。9月の半ばにはJアラートに対応した避難訓練を計画しています。Jアラートが発生したときに、素早く机でバリケードを作り中に入るといふ訓練です。いかに素早く安全に身を隠せるに訓練します。

9月以降地震に限らず、台風時における増水、落雷、竜巻、自然災害等が発生することが想定されます。あらゆる場面で素早く行動し、想像力を働かせ危険を回避できる力を身に付けてほしいと考えています。大切な事は、指示に従って、素早く安全に行動し、自分の身を守ることであると思います。様々な災害等に直面しても、冷静に考え判断し「自分の身は自分で守る」ことができるように教育していきたいと考えております。そのためには、避難訓練時だけでなく全教育活動を通して望ましい態度や習慣を身につけさせていくことは極めて大切なことです。本校では、1学期全校児童が集まる場での態度等に共通理解をもって指導してきました。2学期はそれに素早く安全に動くことを加え共通理解指導を進めて参ります。

以前勤務した学校で、東日本大震災で被災された方にお話を伺う機会がありました。その時のことを尋ねると開口一番「何かあったときに集合する場所や約束を家庭で決めておけばよかったと後悔しました」と話してくれました。その方のお子さんは、下校途中で地震が起こり、途中回り道をして家に帰っていったそうです。お母様も慌てて学校まで迎えに行ったそうですが、いつもの通学路とは違い、行き違いになってしまって探すのが大変だった事、とても心配した体験を教えてくださいました。

このような災害に対応して、過剰に恐れる必要は無いかと思いますが、現実問題として想定しておく必要はあるかと思えます。神根地区でもそれぞれの地域によって地理的な特徴があると思えます。地域の特徴等をよく考え、「何かあったときにはどうする」という約束事を家庭でも決めておくことも必要かと思われます。本日を機会に家庭でも防災について話し合ってみてください。2学期もよろしくお願ひします。

明治6年開校 やる気と根気で夢をかなえる神根っ子

かしこい子  
みんな仲良く  
助け合う子  
ねばりづよい子

150  
ANNIVERSARY

川口市立神根小学校